

2050年にありたい姿の実現に向けて

ULVACは、経営基本理念に基づき、「2050年にありたい姿」を定めています。

また、2032年の理想像として「Vision 2032」を策定し、2050年にありたい姿及びVision 2032の実現に向けたULVAC固有の経営課題である「マテリアリティ」を特定しました。

こうした中長期的な理想像の実現に向けて、バックキャストで2023年度～2025年度の中期経営計画を策定しました。

当計画の達成を通じ、2050年にありたい姿の実現に向けて取り組んでいきます。

バックキャスト

中期経営計画 (2023年度～2025年度)

詳細 [▶ P.25](#) 中期経営計画

基本方針

- 真空技術による社会的価値創造
- 利益・資本効率重視の経営

重点戦略

- 成長事業における製品競争力の強化
- グローバル生産性の向上
- 経営基盤の強化

数値目標

- 売上高 3,000億円
- 売上総利益率 35%
- 営業利益(率) 480億円(16%)
- ROE 14%
- 営業CF(3年間累計) 630億円

Vision 2032

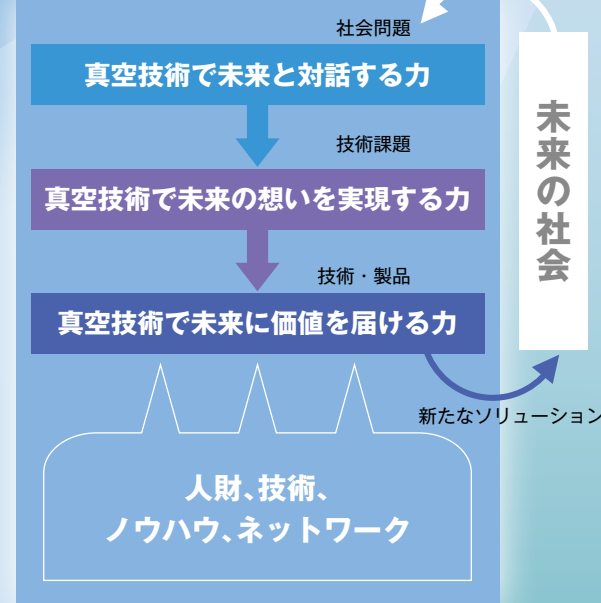
未来につながる可能

「可能性の場」とは、真空中にエネルギーが注ぎ込まれると、あらたな何かが生まれるという真空の場で起こる物理的現象を由来としています。さらに、ULVACで働く一人ひとりも心の中に余白の部分を持つことで外の世界から多くのことを吸収し、それを糧として未知のことに挑戦し、新しい何かを生み出していきたいという想いが込められています。

ULVACは、コアである真空技術を追求し続けると同時に、お客様の想いや社会的な課題を受け止め、真に価値ある技術・製品を生み出し続けてまいります。

性の場であり続ける

ULVACの強み



2050年にありたい姿

真空技術で
世の中のためになる価値を
パートナーとともに生み出し、
人と地球の未来に
貢献し続けている企業

経済成長・ 社会的豊かさ

最先端の技術開発で
より安全・安心、
かつ豊かで便利な社会
の実現に貢献する

人の幸せ

すべての人が幸せな
生活を送るための
社会づくりに貢献する

環境

地球にやさしく
持続可能な社会
づくりに貢献する

マテリアリティ

詳細 [▶ P.39](#) マテリアリティに関する取り組み

真空技術をコアとした
イノベーションの
創出・共創の推進

多様な人財の育成と
活躍推進・レジリエントな
組織づくり

バリューチェーン
における人権尊重・
責任ある行動

持続可能な
地球環境への貢献